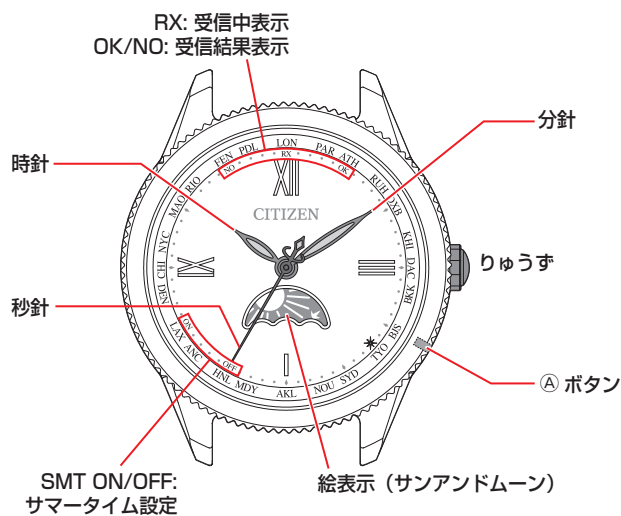


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/h29/h29.html>

各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。



充電残量を確認する

秒針の動きで充電残量をお知らせします。

1 りゅうずの位置を0にする

2 右下のAボタンを押す

時計の充電残量に応じて、秒針が次のように動きます。

秒針の動き	充電残量の状態
すみやかに「OK」または「NO」を指す	十分充電されています
秒針が一度反時計回りに動き、その後「OK」または「NO」を指す	充電が必要です

- 「OK」「NO」は電波の受信結果の表示です。充電残量とは関係ありません。

3 右下のAボタンを押して終了する

- ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

前回の電波受信の結果を確認する

1 りゅうずの位置を0にする

2 右下のAボタンを押す

秒針が、前回の電波受信の結果を指します。

OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

もう一度、ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

- 電波の受信後にりゅうずを操作した場合、前回の受信結果にかかわらず秒針は「NO」を指します。

タイムゾーンを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の24のタイムゾーンを設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

1 りゅうずの位置を1にする

秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。

2 りゅうずを回し、タイムゾーンを選ぶ

- タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。タイムゾーンと秒針の位置の対応については、下の表をご覧ください。
- 現在と異なるタイムゾーンを選ぶと、時刻の表示も切り替わります。

3 りゅうずの位置を0にして、終了する

通常表示に戻ります。

タイムゾーン	秒針の位置	受信局
0	0秒	ドイツ
+1	3秒	
+2	5秒	
+3	8秒	◆ドイツ
+4	10秒	
+5	13秒	◆中国
+6	15秒	
+7	17秒	
+8	20秒	中国
+9	22秒	日本
+10	25秒	◆日本
+11	27秒	
+12	30秒	
-11	33秒	◆アメリカ
-10	35秒	
-9	38秒	
-8	40秒	アメリカ
-7	43秒	
-6	45秒	
-5	47秒	◆アメリカ
-4	50秒	
-3	52秒	
-2	55秒	◆ドイツ
-1	57秒	

- 表中のタイムゾーンの数値は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- 時計に内蔵されているタイムゾーンの情報は、時計の発売開始時点のものです。
- 「受信局」に◆マークのついているタイムゾーンでは、受信範囲外のため実際には標準電波は受信できません。サマータイムと標準時刻の切り替えは、手動で行う必要があります。
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

サマータイムと標準時刻の表示を切り替える

- 1 りゅうずの位置を①にする
秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。
- 2 りゅうずを回し、サマータイム設定を変更したいタイムゾーンを選ぶ
・タイムゾーンの設定は秒針の位置で表されます。タイムゾーンと秒針の位置の対応については、前ページの表をご覧ください。
- 3 りゅうずの位置を②にする
秒針が、現在のサマータイム設定を指します。
- 4 りゅうずを回して、サマータイム設定を変更する

表示	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。今後、サマータイムと標準時刻の表示は、サマータイム信号の内容に応じて自動的に切り替わります。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。サマータイム信号の受信の有無にかかわらず、常に標準時刻が表示されます。

・モデルによっては、「SMT」の記載がない場合があります。

- 5 りゅうずの位置を③にして、終了する

電波を手動で受信する(強制受信)

- ・受信が完了するまでに最大約30分かかります。
- ・タイムゾーンの設定によって、受信する電波は異なります。詳しくは、前ページの表をご覧ください。

- 1 りゅうずの位置を④にする
- 2 右下の④ボタンを2秒間以上押し続ける
秒針が前回の電波受信の結果を指します。その後、秒針が「RX」を指して電波受信が始まります。
- 3 電波受信しやすい環境に時計を置く
秒針が「RX」を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。受信が終わると通常表示に戻ります。

受信を中断したいときは

秒針が「RX」を指している間に、ボタンを2秒間以上押し続けると、受信が中断され、通常表示に戻ります。

時刻を手動で合わせる

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 右下の④ボタンを押す
秒針が0秒を指します。
- 3 りゅうずを回して、分を合わせる
・1分単位で合わせることができます。1分ごとに、秒針が1回転します。
・りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 4 右下の④ボタンを押す
時針がわずかに動きます。
- 5 りゅうずを回して、時を合わせる
・絵表示(サンアンドムーン)で月が真上にきたときが、午前0時です。午前・午後の違いに注意します。
・時針と絵表示(サンアンドムーン)は連動します。
・りゅうずを素早く連続回転させると、針・表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 時報に合わせて、りゅうずの位置を③にして終了する
通常表示に戻り、秒針が0秒から動き出します。

基準位置を確認する

時刻情報を適切に受信しても時刻が正しく表示されないなどの場合、現在の基準位置が正しいかどうか確認します。

- ・基準位置とは、時刻を表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- 1 りゅうずの位置を①にする
- 2 右下の④ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と表示が現在の基準位置に移動します。
・各針が動き始めたら、ボタンを離します。
・各針と表示の動きが止まったら、次に進みます。

基準位置を確認する

正しい基準位置

- ・時針/分針/秒針の位置：0時00分0秒
- ・絵表示(サンアンドムーン)の位置：月が真上



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 4 りゅうずの位置を③にして、終了する
通常表示に戻ります。

基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を①にする
- 2 右下の④ボタンを5秒間以上押し続ける
各針と表示が現在の基準位置に移動します。
・各針が動き始めたら、ボタンを離します。
・各針と表示の動きが止まったら、次に進みます。
- 3 りゅうずの位置を②にする
時針と絵表示(サンアンドムーン)がわずかに動きます。
- 4 りゅうずを回して、時針と絵表示(サンアンドムーン)を正しい基準位置に合わせる
・時針と絵表示(サンアンドムーン)は連動します。
- 5 りゅうずの位置を③にして、終了する
通常表示に戻ります。

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 右下の④ボタンを7秒間以上押し続け、離す
針が動き始め、オールリセットが行われます。
・時計の動きが止まるまで、最長で6分間程度かかる場合があります。完全に動きが止まるまで、お待ちください。

オールリセット後の各設定

時刻	午前0時0分0秒
ワールドタイム	時差0
サマータイム設定	全ての地域で、SMT OFF

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、タイムゾーンの設定を行い、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻を合わせ直してください。

